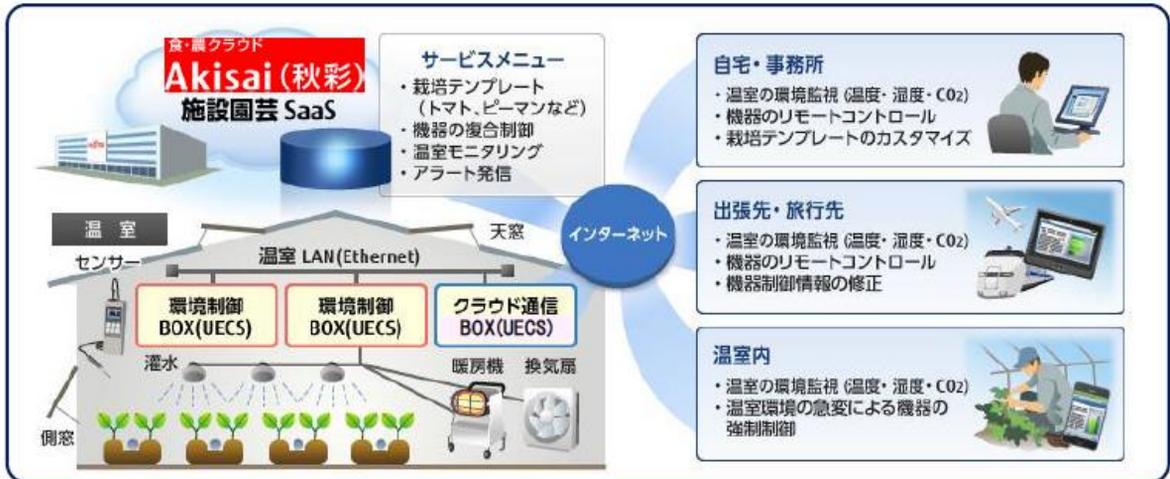


インターネットクラウドを活用した 施設園芸環境制御システムの導入

システム概要

仙台ターミナルビル株式会社

< 2019年1月21日作成 >



(注1) UECS (ユビキタス環境制御システム: Ubiquitous Environment Control System)

出展: 富士通Akisai紹介資料より

導入経過・背景

- ・トマト栽培における環境制御の自動化による人的作業の省力化
 - ・生産量確保のためのハウス内環境の最適化をデータ化することが可能
 - ・ハウス内環境を自立と複合の双方から制御が可能
 - ・遠隔地からのハウス内環境の確認、制御装置の強制操作が可能
- ◆ 上記特性を活かして人の感覚で行っていた環境制御をデータ化し、ネットワークを介して最適化が図れることから、新設時からの導入を検討。

効果・課題等

◆ 効果

- ・環境制御に係る業務の省力化
- ・遠隔地からのハウス内環境と制御装置動作の確認ができるため、天候の変化時等も安心

◆ 課題

- ・環境制御の実施にあたっては、設備投資、工事等の初期投資が必要
- ・接続実績のない制御装置は、通信規格(UECS)への対応が必要